

# 神無月愛南文芸

## 城辺俳句会

遠き世の遺伝子確か蓮開く	井手 幸子
星月夜亡き母兄を捜しけり	吉田 丸美
今朝秋と思うシューズを履きながら	加納 幸子
読みかけの本ひもとくも安居かな	大浜 紀子
願ひてふ常に一つよ星流る	山本 節子
露ともに朝の桔梗を供華したり	宮田志賀子
肥沃らし土手のカンナの緋色濃し	橋本 百代
母の背でふ導を知らず百日紅	山田 静恵
たちまちに闇に立ち上ぐ芋殻の火	大和田いそ子

## 「恐い」

あの時の恐い思い出忘れたい	沖 佐賀
恐いけどそつと戸を開け「こんにちは」	飯田 律子
恐いからと避けて通れぬ道がある	本多 一会

物忘れ進む速さが恐くなり

ウイルスと自然の恐さ心病む  
 恐いのは知らない恐さ知る恐さ  
 長年を恐い顔など見せません  
 怪談を語る女優の恐い顔

## 新しくこの葉短歌会

一個ずつ押さえてトマトの鮮度みる  
 女の後ろで吾は買わざり  
 歩きにくいわれの買物に付き添いて  
 夫は初めて手をとってくれる  
 あさがおの蔓に結れる空蟬に  
 夕光淡し友の新盆  
 朝夕に体重測る夫の顔  
 昨日喜び今日また憂う

本多 暁	木戸富士子	稲田つるみ	藤森 玉子	橋本 百代
河上 明美	宮下喜久子	前田 充	西崎 文恵	

## ▶川柳人をご紹介します

城辺川柳会  
 藤森 玉子さん(城辺甲)



30年ほど前に城辺川柳会に入会し、98歳を迎える今でも家族や仲間の手を借りながら、川柳を楽しんでいます。

若い時には、俳句や短歌にも取り組んでいましたが、一つに絞った方が良いと会の仲間から助言を受け、川柳を選びました。

川柳は季語に縛られず、自由に好きな言葉を選んで、句を詠めるのが良いところです。

まだまだ句を詠みたいと意欲が湧いてくるうちは、川柳を詠み続けようと思います。

※名前は、川柳名です。

## はじめまして。赤ちゃん。

8月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

## ご冥福をお祈りします。

8月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。